

H53c とも座新星 2004=V574 Pup の CCD 観測

清田誠一郎 (VSOLJ)、前原裕之 (東大理)

とも座新星 2004(V574 Pup) は、多胡明彦、桜井幸夫両氏が、2004年11月20日に撮影された搜索画像から独立に発見した新星である。この星の CCD による多色測光観測を行ったので報告する。

観測は、25cm シュミットカセグレン望遠鏡 + Alta E47+ (SK) と 25cm 反射望遠鏡 + ST-7XE(HM) で行った。観測は、発見2日後の11月22日から、可能な限り連夜行った。新星は、11月22日から23日の1日で1.85V等の急激減光し、注目された。その後、一転して増光し、11月26日をピークとして再び減光、9等台でわずかな増減を繰り返しながらほぼ一定光度を保った。12月中旬から、減光速度を速め、3度目の減光期に入った。色指数のうち、B-Vは、11月26日まで直線的に減少したのちほぼ一定となった。それに対し、V-I_cとV-R_cは、11月25日までほぼ直線的に増加し、11月27日以降、ほぼ一定となった。11月26日には、V-I_cとV-R_cの一過的な減少が認められた。これは、光度のピークと一致していた。その他の日は、光度の増減と色指数のはっきりした相関は見られなかった。

予稿執筆段階で、観測シーズン中であり、発表では、学会直前までの観測を報告する予定である。